

EdTech導入補助金2021

令和2年度3次補正 学びと社会の連携促進事業
(先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社エナジード

【ツール名】

ENAGEED CORE

【ツールの機能分類】

発展的な学び

2022年2月



■EdTechツールの概要

【これからの時代に必要な力を理解し、身につける次世代型キャリア教育】

自分の可能性を理解し、誰もが持つ「人の力」を発揮するための学びとアウトプットを繰り返します。

ツール テキスト（デジタル教材）Vol.1～7 計22コマ／ショートムービー

「正解のない問い」に対するアウトプット、グループワークを繰り返す授業スタイルで
教室内で体系的にこれからの時代に必要な「自分で考え、動く力」を身に着けます。

活用場面 総合的な学習の時間、学活

デジタル教材特徴

✓ 教育効果を可視化するポートフォリオ

生徒一人ひとりのアンケート結果や回答一覧を簡単に把握でき、未来に対する関心や身につけた力など、
具体的な生徒の変化が可視化されます。次の授業進行や所見記入、保護者の方への共有などにお使いいただけます。

✓ 生徒同士の学び合い機能

タブレットを利用することで、生徒の回答は「みんなの回答一覧」として、授業中にその場でクラス全体に共有することができます。
(記名／匿名の切り替え機能あり)多くの価値観に触れられることで学びがさらに深まります。



■EdTechツールの概要

授業スタイル

動画>>インプット>>ワーク>>共有>>振り返り>>実践



【テキスト（デジタル教材）】
繰り返される
「正解のない問い」



【ショートムービー（各Lesson1本）】
生徒の興味関心を引き出し
授業への集中力を高める2~3分の動画



【ワークシート（各vol付属）】
ENAGEEDの考え方を使い
目的に合わせてアウトプットできるワークシートで
学びの再現性を最大限高めます

サービス内容・利用料

- 生徒用アカウント
- 先生用アカウント
- 先生用テキスト・指導書
- 研修会／オンラインセミナー
- イベント参加
(オンライン発表大会／企業講演会)
- 指導サポートツール
(授業用動画／指導用ムービー、他校実践事例等)
- 専任担当によるサポート

一括払い：5,900円（税抜）

二分割：2,970円（税抜）×2

三分割：1,980円（税抜）×3

■ 学校等教育機関の抱える課題

【学校・教職員の抱える課題】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により職場体験を初めとした体験学習や学校行事の中止が相次ぐ中で教室内でも職業観、キャリア観を育成する。

【生徒の抱える課題】

- ・受け身姿勢で指示がないと自分から行動できない。
- ・視野が狭く、身の回りにある職業しか知らない。
- ・進路選択においても「なんとなく」考えてしまう。

■ EdTech導入補助金2021における活用事例

～三股町立三股中学校～

Vol.1 4時間分を「総合的な学習の時間」において学習。

問題に「気づく力」、アイデアを「発案する力」、「実現する力」の3つの力を身の回りの問題解決を通じて理解した。通学路の問題を「もっと○○」というキーワードを用いて見つけ、課題解決のアイデアを出しを行うことで、地域を良くするアイデアをアウトプットすることで、自分たちのアイデア、行動次第で地域社会や身の回りをより良くできることを学んだ。



実際の生徒のアウトプット（振り返り）

- ・たまに「もっとこうすればいいのに」と思うことがあったけど、自分が行動すればいいんだとおもった。行動することは大切なと思った。（3年）
- ・一人一人が社会をかえることができる。（3年）
- ・思ったよりたくさんの意見が出てきて面白かった。将来の世界についてよく考えられた。みんなの意見が見れて面白かった。（2年）
- ・一番はじめに答えたそのかっこいい大人になるために自分の視野を広げていきたいと思いました。自分の理想の大人にはほど遠いので頑張りたいと思います。（1年）



↑ 授業風景

← 実際の生徒画面

■ 補助事業において実施したサポート内容

【サポート内容】

- 指導書の提供
 - 教員研修
 - 活用スケジュール

※補助事業において特別実施した対応なし



↑指導書（指導案ページ）

↓活用開始前の教員向けオンライン研修の様子

Lesson
01

意思のあら人生



自分が携わっている業務

生徒はどうよくなる
得られる体験 / 身につけられる力

学校はどうよくなる
学校はこうなる

文化祭の準備

生徒にとって、他者と協力し一つのものを作り上げる良い経験となる。自分に自信を持ってもらえる体験となる。

地域と学校とが一体となり、学校がより学校外へと開けた存在になる。学校の雰囲気が明るくなる。

個人 8分

エナジー酒井

■ EdTech導入補助金2021における導入実績

●学校等教育機関数：3校

●学校等設置者数：3自治体

●学校名：

南牧村立南牧中学校（1学年1クラス6名）

摂津市立第五中学校（1学年2クラス83名）

三股町立三股中学校（1学年8クラス297名、2学年8クラス256名、3学年8クラス312名）

■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

●タブレットを活用してアウトプットを繰り返すことにより、幅広い意見に触れ、教室内においても視野を広げることができ、キャリア観の育成において一定の成果が見られた。特に下記データより、コロナ禍で教育活動に制限があった中でも課題発見・解決能力及びコミュニケーション力の観点において育成が図れたことが見て取れる。

事前事後アンケート結果 事前アンケート全体平均 3.55 平均スコア-事後 3.58

アンケート内容	学校区分	能力カテゴリー	対象vol	設問順番	事前アンケートスコア平均	平均スコア-事後
1. 他者と話し合う際、常に自分の意見を的確に伝えたり、相手の意見に対して肯定的なリアクションができますか？	中学	コミュニケーション力	Vol1	1	3.73	3.82
2. 自分は他者と力を合わせて、社会に価値を生み出せていると思いますか？	中学	コミュニケーション力	Vol4	10	3.39	3.39
3. みんなで何かを取り組む時に、あなたはリーダーシップを取って行動できますか？	中学	コミュニケーション力	Vol7	19	3.09	3.17
4. 自分の頭を使って物事を考え、実行に移した経験・体験はありますか？	中学	自己理解	Vol1	2	3.76	3.79
5. 自分のこれからの中未来にワクワクしていますか？	中学	自己理解	Vol2	5	4.03	4.03
6. 辛いことや困難なことも含めて、これからたくさんのことについて挑戦していきたいと思いますか？	中学	自己理解	Vol5	13	4.11	4.08
7. 身の回りの状況や社会に対して「違和感」を感じたり、「もっとこうだったら」と気づき、自ら変えようと行動できますか？	中学	課題発見・課題解決	Vol1	3	3.29	3.37
8. 身の回りで問題が起きた時に自分で考え、アイデアを出し、解決に向けて提案できますか？	中学	課題発見・課題解決	Vol1	4	3.35	3.41
9. 物事を考える際、ゴールから逆算して考えることができますか？	中学	計画実行力	Vol2	6	3.29	3.31

10. 計画した物事を実行する時に、初めに行うべき行動が明確になっていますか？	中学	計画実行力	Vol2	7	3.42	3.46
11. 何かに取り組むときに、全体像を捉えて物事を進めることができていますか？	中学	計画実行力	Vol5	15	3.44	3.39
12. 他者の立場に立ってものごとを考えることで、自分の行動を変えることができていますか？	中学	他者に働きかける力	Vol3	8	3.67	3.67
13. 常に相手を気づかうことで、良い感情を生み出せていますか？	中学	他者に働きかける力	Vol3	9	3.88	3.88
14. 世の中の様々な仕事がどのように役に立っているのか、他者に伝えることはできていますか？	中学	社会・職業理解	Vol4	11	3.16	3.2
15. 自分で工夫し、世の中をより良くするアイデアを思い付いた経験がありますか？	中学	社会・職業理解	Vol4	12	3.16	3.24
16. 知らないこと、経験がないことに対して、自分で「やろう」と決めて行動できていますか？	中学	主体的行動	Vol5	14	3.57	3.68
17. 視野を広げるために、自分が知らない世界を知るために行動ができていますか？	中学	主体的行動	Vol6	16	3.41	3.44
18. 指示されたことをそのままやるのではなく、常に自分なりの目的・意志をもって行動できていますか？	中学	主体的行動	Vol7	20	3.51	3.58
19. 自分の意志で、価値観や世界を広げることが可能だと思いますか？	中学	情報選択・意思決定	Vol6	17	3.75	3.74
20. 自分の世界を広げて、様々な場所で活躍したいと思いますか？	中学	情報選択・意思決定	Vol6	18	4.02	4.05

■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

●キャリア教育におけるICT利活用による教員の負担軽減

これまで行ってきた従来の総合学習、キャリア教育のあり方から脱却し、タブレットを用いて実施していくという観点では教職員にも変化への対応力が求められ、一定の負荷は生じたが、紙媒体のワークシートを作成、配布、生徒に記入させた後回収、確認、返却作業を行っていたことを鑑みると、管理の手間を軽減することができた。

●教員のスキルアップ

また、教員自身が教材の活用を通し、自身の学びに繋がったという声も挙がっており、これから教員に求められる「正解のない問い合わせ」を扱うファシリテーション力やICTスキルの向上に寄与することができた。

(実際の先生の声)

先生自身ずっとなしたかったことがあったけれど、今まで時間をとって話すことができていなかった。エナジードの授業という時間があることで本当に生徒に伝えたかったことが伝えられて嬉しい。生徒のために自分も初めてパワーポイントにチャレンジしてみた。

●生徒のキャリア観育成

コロナ禍において進路講演や職場体験等の卒業後の進路を考える機会が中止や規模縮小する中でも教室内におけるアウトプット、グループワークを通して仕事の価値について考える等、生徒自身の将来、進路について深く考える機会を提供できた。

(実際の先生の声)

最初はやりたいことがなかった生徒が半年間で具体的な進路が見え始めている。vol.4をやる中で、これからの世の中に必要な仕事という視点でも考えられるようになった。

The screenshot shows the ENAGEED application's interface. On the left is a dark sidebar with white icons for HOME, 教材を開く (Open Materials), クラス (Class), クラスデータ (Class Data), and ログアウト (Logout). To the right is a light gray main area. At the top right are buttons for 'くクラス選択に戻る' (Return to Class Selection), 'データを見たい生徒を選んでください' (Please select the student you want to see data for), '回答データのCSVダウンロード' (Download CSV of Answer Data), and 'Lessonを選択' (Select Lesson). Below these buttons is a section labeled '1-1' containing a grid of student names and their responses. Each student name is enclosed in a box with a red '1' icon. The students listed are: 三浦 健太郎(デモ用), 荒巻 大輔(デモ用), 久世 英雄, 持田 蓮, 達海 猛, 神崎 奏音, 佐藤 かおり, 早川 亜裕, 蒼井 穂乃果, 櫛 悠人, 吉田 忠広, 大塚 夢斗, エヴァリスト ガロア, 高橋 和葉, 平井 和楓, 高井 真穂, 松永 棚, 夏川 楓, 中山 葵, 小木 広明.

指導画面から全生徒の回答データ、アンケート結果の確認が可能

■ EdTechツールを活用した児童生徒・教員のコメント感想等

教員のコメント・感想

- 3-先生クラス
生徒だけでなく、教師側が良い見本になれるよう、日常生活に意義を持たないといけないと改めて認識しました。
2021/09/28 15:35
- 3-先生クラス
時代が変わっていくのと同時に私たち教員の考え方や子どもたちへの接し方もアップデートしていかなければならぬ
ない
2021/09
@4
- 3-先生クラス
①もっと多くの生徒が英検を受ければいいのに ②もっと多くの生徒が英単語プリントを提出すればいいのに ③
南牧中の職員が残業を減らしてもっと早く帰れればいいのに ④校長室の黒板がホワイトボードだったらいい...
2021/09/30 14:19
- 3-先生クラス
「創造工夫する力」を見て仕事をするときに、誰かのためにより良くするにはどうすればよいか考えるだけで、モ
チベーションも上がるし、よりよい仕事ができると思った。
2021/09/30 12:10
- 3-先生クラス
見えにくいものを見るために、その立場になりきるということか。
2021/09/30 12:09

生徒の振り返りコメント

- 自分で物事を考えて、それを行動に移すと
いうことは凄く大切なことなんだなと思つ
た。
- 私が日常で使っているものは、誰かが不満
に思ったことを解決するために作られたもの
だとわかった。
- 多くの人がぼくと似た考えで僕と似た考
えを持っている人がいるんだと知り少し自
分の意見を言えるようになりました。
- 僕はこの授業をする前はいやだなって思
うだけだったけどこの授業のおかげで思いつ
いたらまずそれからどうするかって考えて実行
しようって思った。

■ EdTechツールの導入・運用における課題とその改善策

- ・全校生徒が一斉に接続するとWi-Fi環境の問題でスムーズに接続できない場合等、ハード面での課題があった。
 - ▶ (改善策) 教材データを軽くして通信における負荷を軽減する。教育委員会や通信関連の業者と連携し、環境改善を進めていただく。
- ・新型コロナウィルスの感染拡大の影響で学校行事の変動等が発生し、スケジュールを変更せざるをえない状況があった。
 - ▶ (改善策) 学校行事を実施できる場合／実施できない場合のパターンを分けて活用スケジュールを学校側と握っておく。

■ 会社概要

- ・社員数：43名
- ・売上（前年度）：182,730,943
- ・BS資産合計：444,444,979（2020年9月時点）
- ・BS純資産合計：232,405,502（2020年9月時点）
- ・BS負債合計：212,039,477（2020年9月時点）
- ・決算月：9
- ・問い合わせ先：03-6273-1853（担当：志賀）